

令和5年度ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム
(東北メディカル・メガバンク計画(東北大学))
中間評価 評価コメント

No.	評価課題名	補助事業 代表者名	所属機関	役職
000-001	東北メディカル・メガバンク計画 (東北大学)	山本 雅之	東北大学	教授

【評価コメント】

個別化医療・予防等の次世代医療の実現に資する、我が国の健常人ゲノムコホート・バイオバンクの中核となることを目指し、コホート調査、複合バイオバンクの整備と充実、試料と情報の利活用促進等に取り組み、日本人ゲノムリファレンス 54KJPN の公開等、着実な成果をあげてきている。また、三世代コホートは大変貴重であり、その三次調査を順調に進めていることも高く評価できる。さらに、我が国のバイオバンクのモデルとして、マイ ToMMo アプリの作成・運用、ISO の取得など先進的な取り組みを実施しており、さらなる成果が期待される。

第3段階の残りの期間においては、いわて東北メディカル・メガバンク機構とより連携して全体計画で定めた目標の達成を目指すとともに、事業の取り組み・成果を広く国民に共有いただきたい。また、現在の取り組みが将来の国民の健康にどのように資するのかについてのビジョン、および第3段階以降の運営について、具体的な道筋を明確化した上で、国の支援が必要な部分と自立すべき部分についてさらに検討していただきたい。